民生委員制度100年
～府内一斉にキャンペーン～

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。府域では、活動強化週間(5/12～18)にあわせて、さまざまな広報・啓発活動が展開されました。※表紙写真は交野市民児協での取り組み

街頭啓発キャンペーンの実施

生花を供える献花式

除幕式のあと、なんば駅周辺にて公式キャラクター・ミンジーをあしらったPRグッズを配付し、民生委員・児童委員の活動をアピールしました。

100周年の記念大会

本年は、大阪で民生委員制度のルーツである「方面委員制度」がはじまってから100年を迎えます。

5月21日(月)には、制度創設100周年を記念した第70回大阪府民生委員児童委員大会を開催。会場の大阪城ホールには約7500人の民生委員・児童委員や関係者が結集し、これからの100年に向けて、さらなる連帯と飛躍の契機になりました。

100周年記念碑の設置

府民児協連では、淀屋橋にある林市蔵元知事の銅像横に大阪府・大阪市・堺市民児協の三者共同で記念碑を新設しました。

方面委員制度について記した記念碑

できた！〝eコミ〟実践報告書

市町村社協連合会(以下、連合会)は、平時における見守り活動や要配慮者支援体制の充実、大規模災害に備える情報の収集・発信システムの構築のため、平成27年度からeコミュニティ・プラットフォーム(以下、eコミ)を活用したモデル事業を進めています。

eコミのポータルサイト機能では、社協間で、職員募集や定款等の情報、資機材の保有リストなどを共有できるほか、マップ機能では、地域づくりを意識した子育てサロンなどの社会資源や要援護者の情報を可視化することができます。

4月に作成した報告書では、モデル事業に取り組む阪南市・河内長野市・松原市の実践を紹介しています。

連合会は、平成33年度の本格実施に向けて、過半数を超える市町村社協の参画をめざし、モデル事業の活用・検討を呼びかけています。

4月に作成。報告書の内容は、府社協・地域福祉部HPからご覧いただけます。

大東市 地域貢献委員会設立！

4月25日、「大東市地域貢献委員会」の設立総会が開催されました。この委員会は市内の26法人28施設が会員となり、事務局は大東市社協が担います。

総会では、委員長に選任された(社医)若弘会(わかこうかい)の前田(まえだ)弘(ひろし)副理事・局長が「少子高齢化が進み、価値観が多様化する中、老人・障がい・児童といった種別を超えた支え合いの輪を広げ、市内の福祉課題やセーフティネットの強化において具体的な提案・方法を考えていきたい」と力強くあいさつしました。

第2部の記念講演では、府社協の井手之上優常務理事が、社会福祉法人を取り巻く情勢をはじめ、府域の「大阪しあわせネットワーク」との連携の必要性や他市の活動事例を踏まえ、地域貢献委員会の意義と役割について話しました。

大東市地域貢献委員会では、会員相互の情報交換、交流を通して各施設の事業を共有することから取り組みを進めていきます。

※府内41市町村中32カ所で設置(6月1日現在)

魅力に触れよう！

夏のボラ体験！

府社協と府内41市町村社協のオール大阪による「ボランティア体験プログラム」を今年も開催します。

地区福祉委員会や福祉施設、ボランティアグループ、NPO等の協力により、ボランティア活動を身近に感じられる、個性豊かな楽しいプログラムが用意され、「ボランティアは初めて」という方はもちろん、親子や友だちグループでの参加も大歓迎です。

体験を通してたくさんの人と出会い、今まで知らなかった世界に触れてみませんか？

体験期間 7月1日～9月30日まで
申込み先 各市町村社協の窓口

プログラムの検索はこちら▼
(6月25日頃に掲載予定)
http://www.osakafusyakyo.or.jp/volunteer/summerv.php